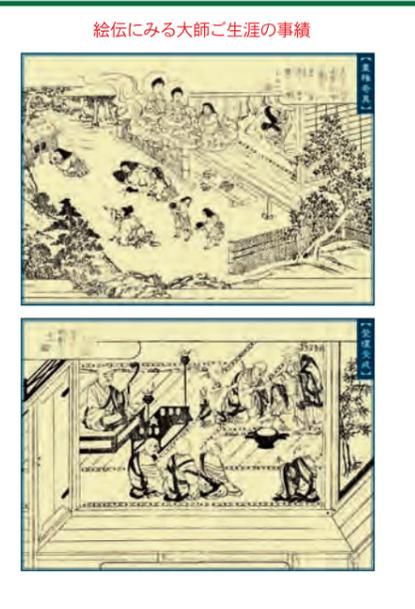
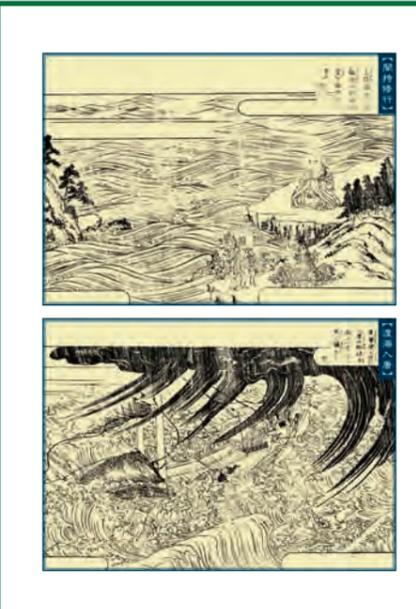


組見本

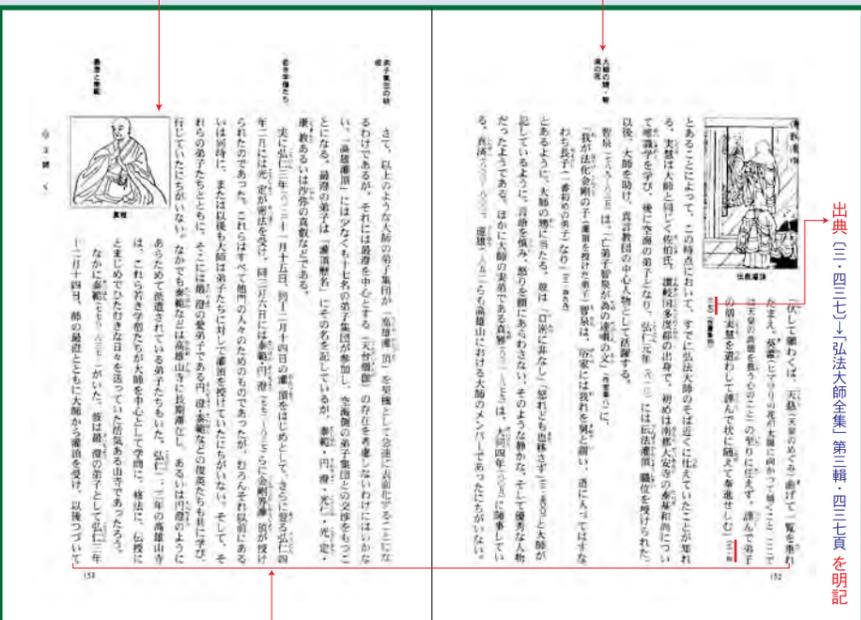


口絵 (40%)



読解をたすける豊富な図版

内容が一目瞭然 頭注式の小見出し



難読字にもルビ (ふりがな) 付き

本文 (40%)

出典(三・四三七) 弘法大師全集 第三輯・四三七頁を明記

◎カラー口絵 (弘法大師行状記図巻より)
 童稚奇異 / 登壇受戒 / 聞持修行 / 渡海入唐
 大使替書 / 青龍受法 / 画像写経 / 惠果付法
 伝教灌頂 / 堂塔草創 / 正月修法 / 南山入定

／玄昉 / 弘法大師一行の入唐経路 / 赤岸鎮の海岸 / 空海漂着記念碑 / 唐長安城平面図 / 唐大明宮含元殿復元図 / 一行阿闍梨 / 龍智阿闍梨 / 唐大雁塔 / 惠果阿闍梨 / 興善・青龍両寺の僧を供養す / 瓶 / 玄奘三蔵 / 香炉 / 空海記念堂 / 空海記念碑 / 鑑真和尚 / 経生二十人諸経を書写 / 鑄工等仏具を造る / 声字実相義 / 鈴 / 伝教灌頂 / 真雅 /

悉曇字義 / 法身三密観図 / 「字輪観」図 / 真然 / 満濃池 / 神泉苑・法成就池 / 智泉 / 綜藝種智院蹟の碑 / 御遺告 / 求聞持虚空蔵 / 実慧 / 親鸞聖人 / 官位追贈 その他
 A5判・上製本・二七二頁
 定価：四七五円(税別)
 ISBN978-4-903470-38-2 C0015
 ©日本図書館協会選定図書

ご生涯をタテ糸に、教えをヨコ糸として織りなす大師伝の白眉



弘法大師空海が自ら自己を語った言葉を綴ることによって、大師自らの自己史をもくろんだ。それに私の推測を加え、さらに国史の記録を尋ねて、及ばずながら大師の生涯をたどり、その幾つかのエピソードに糸を通したつもりである —エビロークより—

福田亮成 FUKUDA Ryōsei
 新・弘法大師の教えと生涯

新装 三訂

ノンブル社

♣ご注文・お問合せは下記へお願いします

図書出版 **ノンブル社** 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-8-22-2F
 電話 03-3203-3357 FAX 03-3203-2156

弘法大師空海の大いなる【知】の営みとダイナミックな【活動】を追体験 ——日本精神史の極北と謳われた大師の息吹を聴く！——

Contents

▼プロローグ

1 選ぶ

大師の誕生／真魚少年／勉強／出会い／出家／『三教指帰』その一／『三教指帰』その二／『三教指帰』その三／『三教指帰』その四／もう一つの『三教指帰』／修行／七年半

2 出会う

入唐前夜／渡海／漂着／入京許可／長安城／西明寺止宿／長安の日々／大いなる出会い／惠果和尚／瀉瓶／七箇の阿闍梨／惠果への贈り物／惠果との別れ／帰国の願い／帰途／『御請来目錄』その一／『御請来目錄』その二

3 開く

九州滞在／新帰朝僧空海／高雄山神護寺／伝教大師最澄／高雄灌頂／真言僧伽と天台僧伽／嵯峨天皇／密教ということ／中寿感興／『理趣釈経』／密典写経運

4 生きる

即身成仏／高野山開創／金剛峯寺の造営／万濃池の修築／密教道場東寺／神泉苑の請雨／弟子智泉の死／綜藝種智院の開創／『十住心論』の撰述／永く山に帰らん／万燈・万花の会／真言宗年分度者

5 翔ぶ

真言行者の生活／御遺誠／御入定／弟子たちの動向／弘法大師の諡号

▼エピローグ 弘法大師の光彩

あとがき
参考文献—もう少し詳しく勉強したい人のために
弘法大師年譜
索引



本書の特色

- ・大師ご自身の文章を拠り所に、更には国史等の記述を補って考察
- ・引用文献（弘法大師全集」「弘法大師伝全集」「高野雑筆集」等）には巻数・頁数も併記
- ・本文上段には頭注式の小見出し（細ゴシック体）を付して必要箇所が一目瞭然
- ・大師の事跡とその時代の動きを巻末の年譜で一望

福田亮成 RUKUDA Ryosei 略歴

東京に生まれる。東洋大学文学部仏教学科卒業。大正大学名誉教授、文学博士、真言宗智山派成就院住職。この間、真言宗智山派伝法院院長、高野山大学客員教授、NHKラジオ講座（『秘蔵宝鑑』）講師等を歴任
著書 弘法大師の手紙、現代語訳般若心経秘鍵、同・秘蔵宝鑑、同・即身成仏義、同・三昧耶戒序・秘密三昧耶仏戒儀、同・弁頭密二教論、同・声字実相義、同・卍字義、同・菩提心論、興教大師覺鑊上人入門、解説舍利和讃、曼荼羅入門、新義真言の教風—頼船僧正と玄奘僧正、コトバのまんだら150選1・2・3他（以上、ノンブル世）。理趣経の研究、空海要語辞典Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、弘法大師が出会った人々他

弘法大師略年譜

- 七七四 讃岐国多度郡屏風浦に父佐伯田公の三男として生まれる
- 七八八（15歳） 母方の伯父阿刀大足に論語、孝経、史伝等を学ぶ
- 七九一（18歳） 上京し、大学明経科に入学。味酒浄成、岡田牛養に学ぶ
- 七九三（20歳） この頃、沙門から虚空藏求聞持法を受け、阿波国大瀧嶽、土佐国室戸崎等で修行に励む
- 七九七（24歳） 『三教指帰』を撰す
- 七九八（25歳） 沙弥となる。大日経等の密教経典に接す
- ……空白の七年半……
- 八〇四（31歳） 留学生として第十六次遣唐使団に同行。長安に到る
- 八〇五（32歳） 長安青龍寺の惠果和尚について密教を受法す
- 八〇六（33歳） 帰国の途につく。『新請来経等目錄』を上表す
- 八〇七（34歳） 大宰田小式の先妣田中氏の周忌齋を行い千手千眼観音等十三尊を図絵
- 八〇九（36歳） 高雄山神護寺に入る
- 八一〇（37歳） 東大寺別当に補せらる
- 八一（38歳） 山城乙訓寺の別当に補せられる
- 八二（39歳） 高雄山寺にて金剛界結縁灌頂、最澄等入壇。高雄山寺にて胎藏の結縁灌頂
- 八三（40歳） 高雄山寺にて金剛界の伝法灌頂
- 八四（41歳） 『梵字悉曇字母并釈義』等を進献
- 八五（42歳） 『弁頭密二教論』を撰す
- 八六（43歳） 高野山開創の勅許
- 八七（44歳） 高野山開創に着手
- 八八（45歳） 勅許後をはじめて高野山に登る
- 八九（46歳） 『秘密曼荼羅教付法伝』を著す。『即身成仏義』を撰し、その後『声字実相義』更に『卍字義』を著す
- 九〇（47歳） 『文筆眼心抄』を撰す。これより先に『文鏡秘府論』を著す
- 九一（48歳） 讃岐万濃池の築池別当に任ぜられる。『真言付法伝』を著す
- 九二（49歳） 鎮護国家のために仁王経法を修す
- 九三（50歳） 東寺を賜う
- 九四（51歳） 神泉苑にて請雨経法を修す。高雄山寺を定額寺となし、神護国祚真言寺と改称
- 九五（52歳） 大僧都に任ぜらる
- 九六（53歳） 綜藝種智院を創立
- 九七（54歳） 『秘密漫荼羅十住心論』『秘蔵宝鑑』を朝廷に献上。この頃『三昧耶戒序』成る
- 九八（55歳） 病により大僧都を辞せんことを請う
- 九九（56歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一〇〇（57歳） 弟子らに遺誠
- 一〇一（58歳） 高野山にて病む。金剛峯寺、定額寺となる。遺告二十五箇条を制す。高野山にて入定
- 一〇二（59歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一〇三（60歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一〇四（61歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一〇五（62歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一〇六（63歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一〇七（64歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一〇八（65歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一〇九（66歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一一〇（67歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一一一（68歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一一二（69歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一一三（70歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一一四（71歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一一五（72歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一一六（73歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一一七（74歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一一八（75歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一一九（76歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一二〇（77歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一二一（78歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一二二（79歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一二三（80歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一二四（81歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一二五（82歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一二六（83歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一二七（84歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一二八（85歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一二九（86歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一三〇（87歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一三一（88歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一三二（89歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一三三（90歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一三四（91歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一三五（92歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一三六（93歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一三七（94歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一三八（95歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一三九（96歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一四〇（97歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一四一（98歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一四二（99歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う
- 一四三（100歳） 高野山にて万燈万華の法会を行う

（本文より一部抜粋）

